

証券コード

5020



# JXホールディングス

## 2012年度 決算説明資料

代表取締役社長            松下 功夫  
取締役常務執行役員    内島 一郎

2013年5月9日



エネルギー・資源・素材の<sup>みらい</sup>Xを。

JXホールディングス株式会社

## 本日のご説明

- |                 |        |           |       |
|-----------------|--------|-----------|-------|
| • 全体総括          | P1～11  | 代表取締役社長   | 松下 功夫 |
| • 2012年度決算概要    | P12～22 | 取締役常務執行役員 | 内島 一郎 |
| • 2013年度決算見通し概要 | P23～31 |           |       |

# 決算概要



	2009年度 (実績)	2012年度 (実績)	2013年度 (見通し)
	(億円)	(億円)	(億円)
売上高	90,080	112,195	122,500
営業利益	1,304	2,515	2,550
営業外損益	569	768	800
経常利益	1,873	3,283	3,350
在庫影響除き経常利益	▲153	2,710	3,000
エネルギー事業	▲1,358	1,028	1,350
石油・天然ガス開発事業	490	936	850
金属事業	454	465	550
その他	261	281	250
特別損益	▲353	▲563	▲250
当期純利益	731	1,595	1,700

# エネルギー事業の取り組み



## 東日本大震災からの早期復旧

## 石油精製販売事業の劇的な変革

### 精製能力削減

- ✓ 40万BDの能力削減を実行済み
- ✓ 2014年3月末までに18万BDを削減  
(室蘭製油所石化工場化)  
(当社精製能力)

2009年度	2014年度
179万BD	⇒ 121万BD

高度化法対応が完了

### 統合シナジー・製油所効率化

- ✓ 当初計画を上回る効果を実現

2012年度効果額(2009年度比)

当初計画	実績
1,090億円	⇒ 1,159億円

## その他の主な施策

- ✓ 国内最高の競争力を有する製造・販売体制構築
  - ・ フリート事業再編
  - ・ SSネットワーク整備
- ✓ アジア内需取り込みを中心とした海外事業強化
  - ・ 韓国パラキシレン
  - ・ 潤滑油グループⅢベースオイル
  - ・ 海外潤滑油製造・販売拠点の拡充  
(インドネシア・ベトナム等)
- ✓ エネルギー変換企業としての取り組み
  - ・ LNG基地(増強:水島、新設:八戸・釧路)
  - ・ カナダ原料炭権益獲得
  - ・ 固体酸化物形(SOFC型)燃料電池の発売

# 石油・天然ガス開発事業の取り組み



## 主な施策

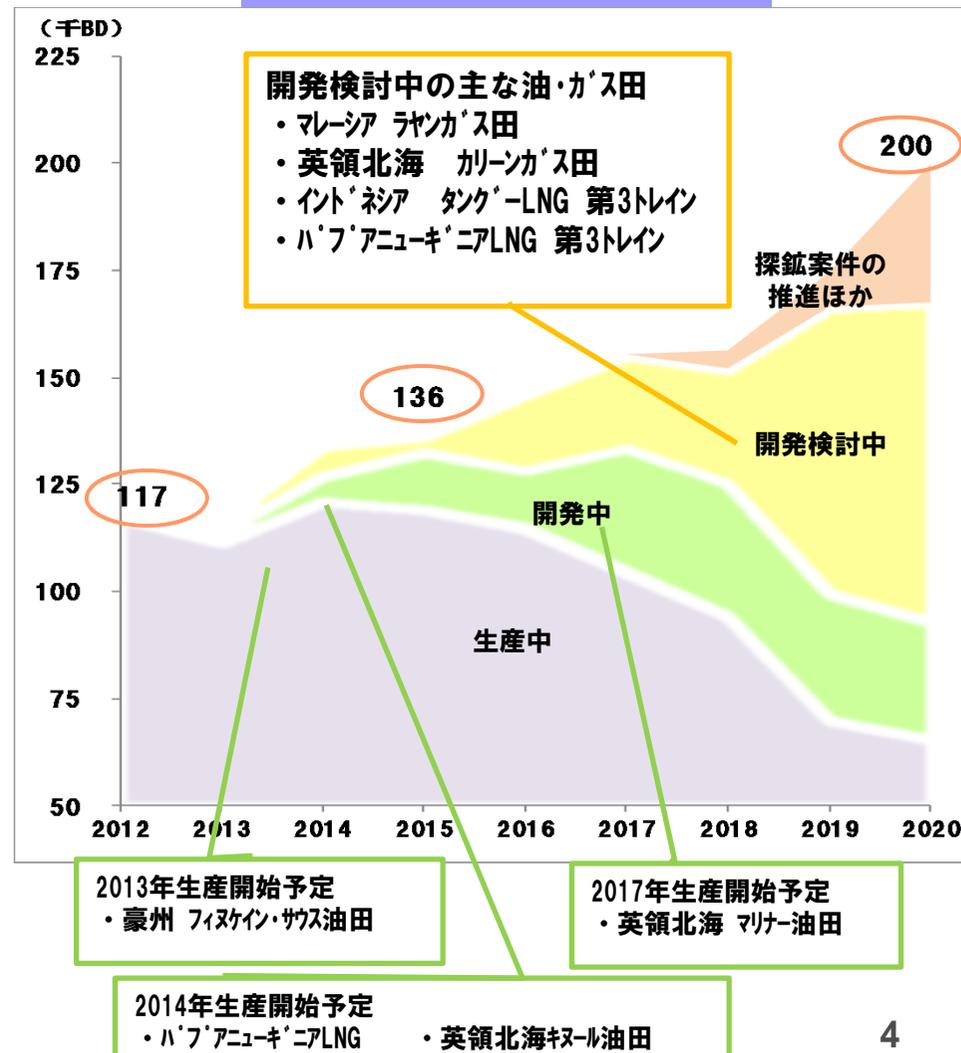
- ✓ 探 鉱： 大型オペレーター プロジェクトの獲得  
マレーシア（カブ深海R鉱区）、カタール（A鉱区）
- ✓ 開 発： パプアニューギニアLNG
- ✓ 資産買収： 英領北海資産

	国名（鉱区名）	種類	新規鉱区 の取得	油・ ガス 見層	広がり の 確認	生産 中 油田 の 利 権 更 新
2011年1月	ベトナム (16-2)	ガス		●		
2011年2月	UAE (ハイル油田)	油	●			●
	ベトナム (05-1b/c)	油/ガス		●		
2011年3月	英国 (カリン)	ガス			●	
2011年4月	オーストラリア (WA-290-P)	ガス		●		
	パプアニューギニア (PPL219)	油		●		
2011年5月	カタール (Block A)	ガス	●			
	オーストラリア (WA-191-P)	油		●		
2012年1月	マレーシア (深海Block R)	油	●			
2012年9月	ミャンマー (M-11)	ガス	●			
2012年10月	オーストラリア (WA-435-P/WA-437-P)	ガス	●			
2012年10月	英国新規	油/ガス	●			
2012年12月	英国マリナー油田	油/ガス	●			

2012年1月  
開発決定

2013年2月  
開発決定

## 生産量見通し（原油換算）



# 金属事業の取り組み



## 主な施策

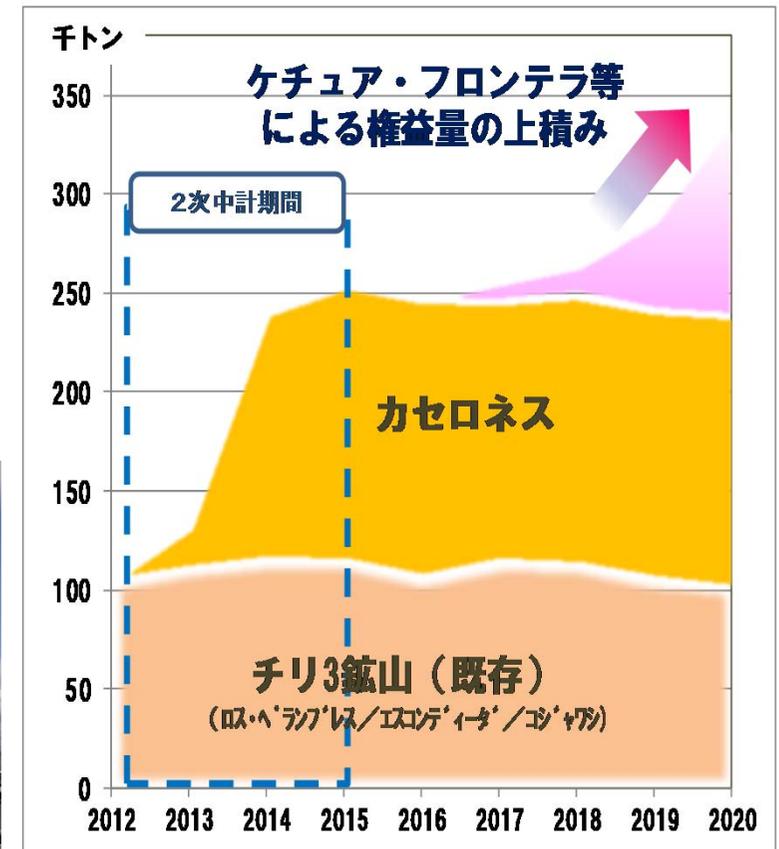
- ✓ 資源・製錬のバランスのとれた高収益体制構築  
カセロネス開発、フロンテラ探鉱権益獲得
- ✓ 市場ニーズに応えた事業展開による収益力向上  
リチウムイオン電池正極材増強、掛川コネクタ 一貫生産工場建設

カセロネス銅鉱山  
～2013年生産開始～

掛川新工場  
～2013年4月操業開始～



## 銅鉱山権益量





将来の成長に向けた「戦略投資」を計画通り実行

計画

9,600



実績

9,580



## 第1次中計の振り返り

# 数値目標の達成度



経常利益  
(億円)



- ・国内石油製品市況の改善
- ・油価・銅価の上昇による上流事業の収益力向上により、3,000億円規模の利益創出が可能な体制が実現

ROE



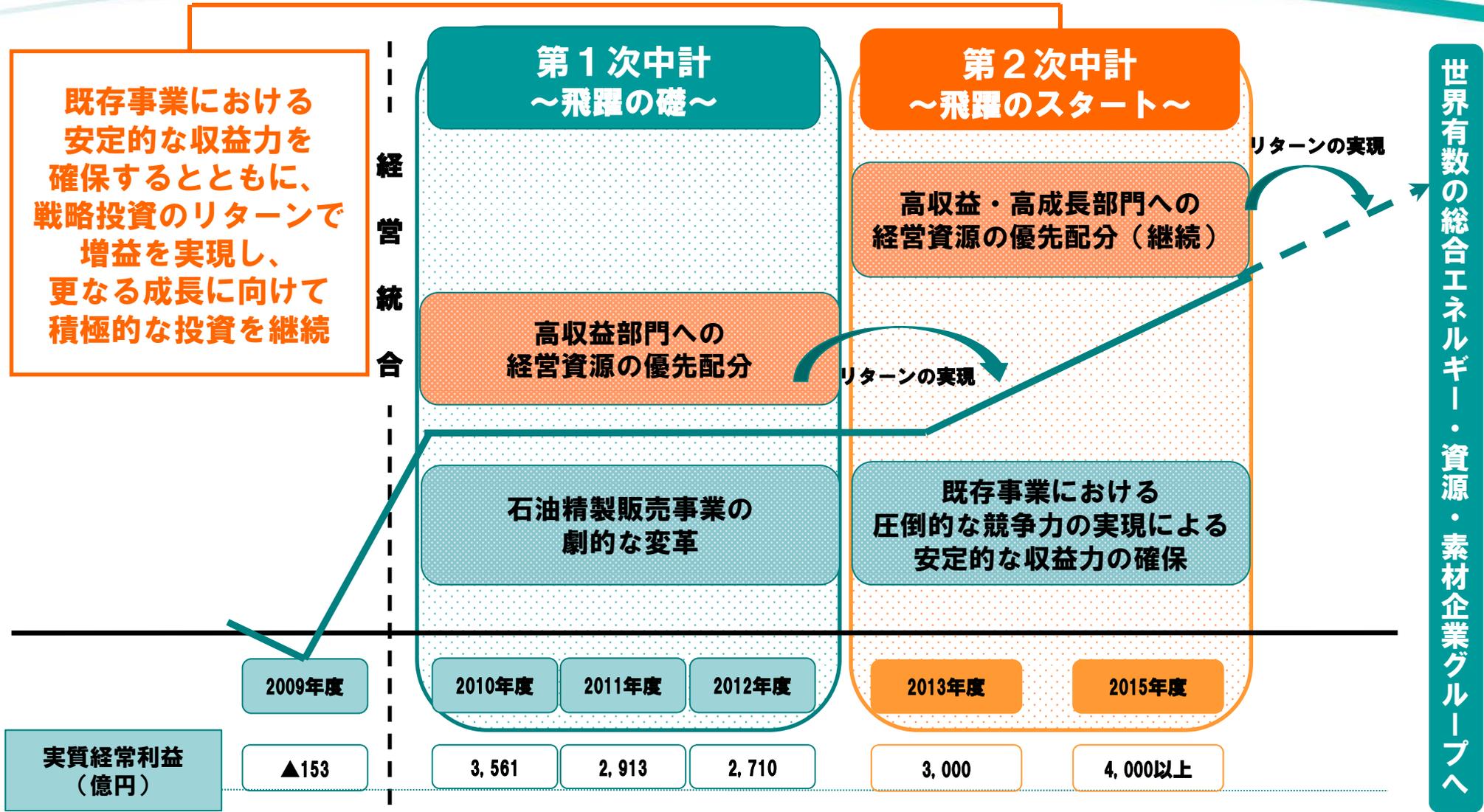
ネット  
D  
E  
レ  
シ  
オ



・在庫評価益による上積み効果はあるものの、コンスタントに10%を実現できる素地は完成

・震災復興費用と油価・銅価上昇に伴う運転資金増により目標未達。

# 長期ビジョンにおける第2次中計の位置づけ



実質経常利益  
(億円)

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2015年度
▲153	3,561	2,913	2,710	3,000	4,000以上



# 前提条件と数値目標

## 前提条件 (2015年度)

為替	90 円／ドル
原油価格 (トウバイスホット)	110 ドル／バーレル
銅価 (LME)	360 セント／ポンド

## 数値目標等

	第2次中計	(参考) 第1次中計
経常利益	4,000億円以上 (2015年度)	3,000億円以上 (2012年度)
ROE	10%以上 (2015年度)	10%以上 (2012年度)
ネットD/Eレシオ	0.9倍以下 (2015年度)	1.0倍以下 (2012年度)
設備投資 投融資	13,000 + $\alpha$ 億円 (2013～2015年度合計)	9,600 億円 (2010～2012年度合計)

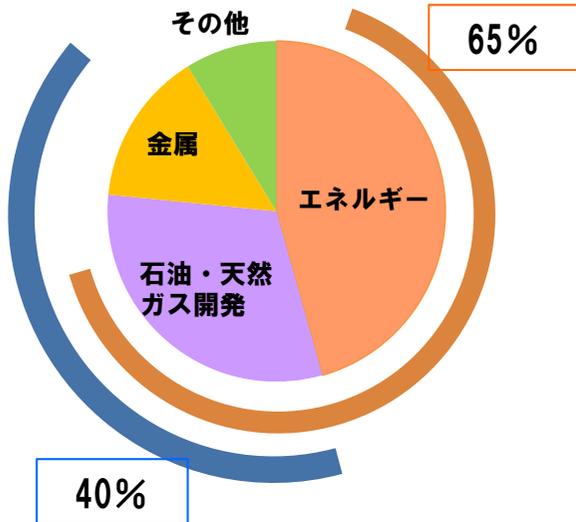
\* 事業環境の変動に応じた追加的な戦略投資案件については「 $\alpha$ 」において検討。

# 2020年の当社の目指す姿

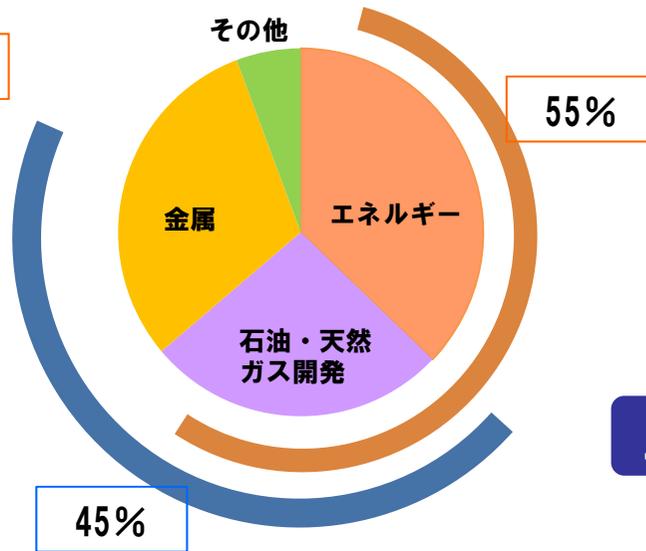
バランスのとれた、石油事業と非石油事業、上流事業と中・下流事業

在庫影響除き経常利益のバランス

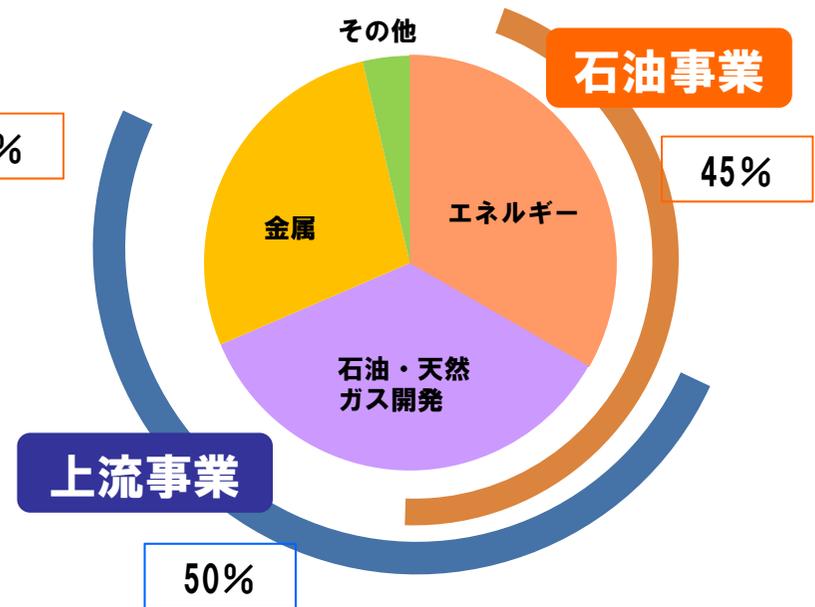
2012年度



2015年度



2020年度



<上流事業の範囲>

エネルギー：石炭 石油・天然ガス開発：全事業 金属：資源開発

<非石油事業の範囲>

エネルギー：電気、ガス、石炭、太陽光・燃料電池、機能化学品  
 石油・天然ガス開発：LNGプロジェクト（マレーシア、インドネシア、パプアニューギニア）  
 金属：全事業

# 配当金



## 配当金

2012年度

### 1株当たりの配当金

第2四半期末	期末	年間
8.0円	8.0円	16.0円

2013年度

### 1株当たりの配当金

第2四半期末 (予想)	期末 (予想)	年間 (予想)
8.0円	8.0円	16.0円



**2012年度決算**  
**(2012年4月1日～2013年3月31日)**

# 主なトピックス（2012年4月～2013年3月）



## JXエネルギー

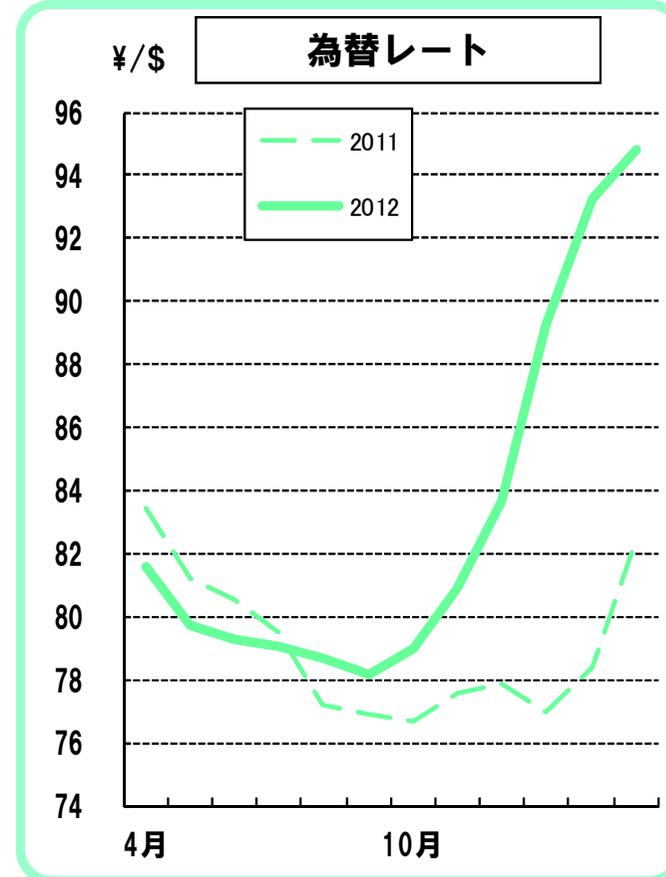
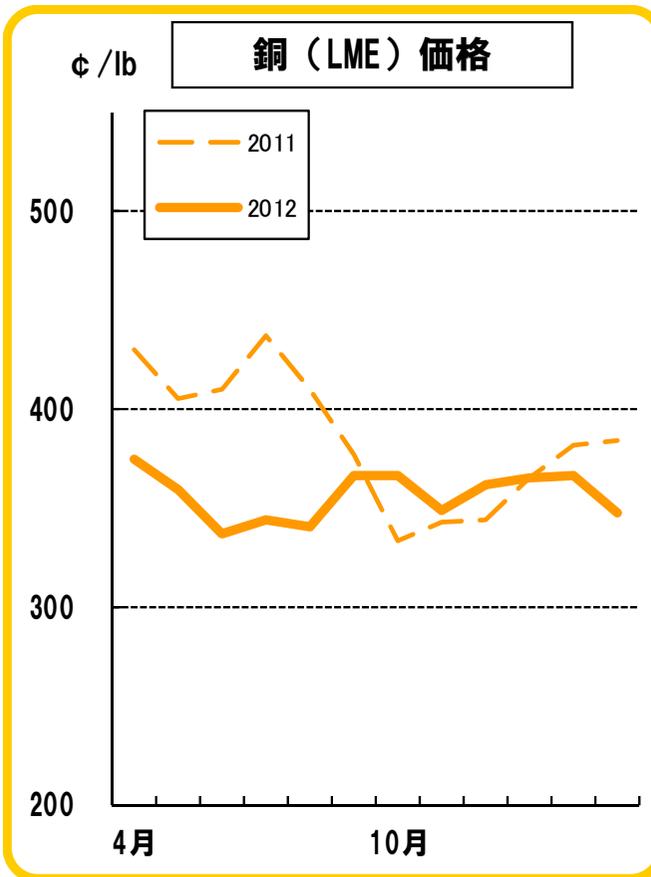
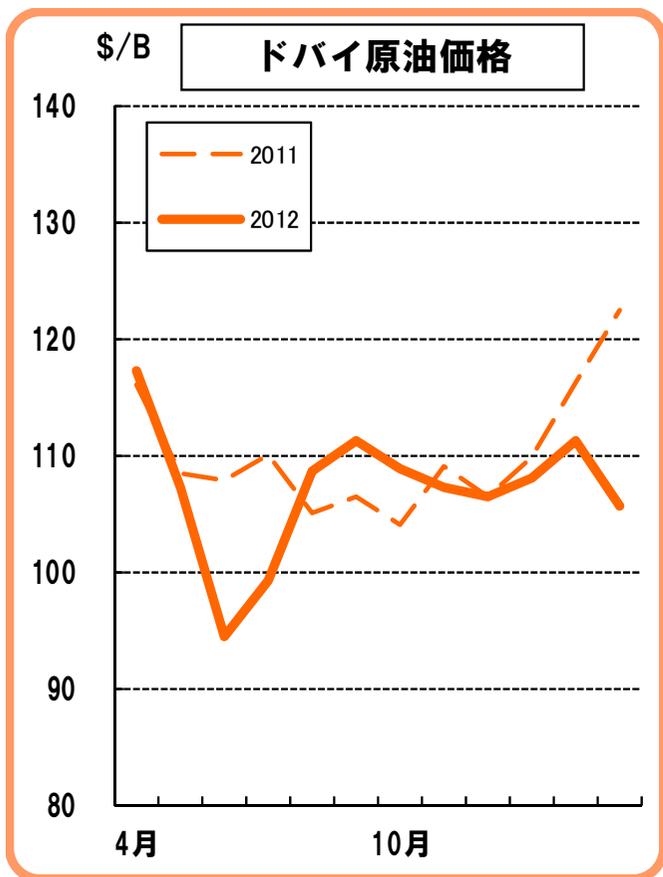
- 9月 韓国SKグループとの潤滑油ベースオイル製造に係る合併事業を開始
- 11月 室蘭製油所の事業再構築を決定
- 11月 東北電力（株）八戸火力発電所向け天然ガス売買契約を締結（八戸・釧路LNGプロジェクト）
- 11月 ウルサンアロマティックス社においてパラキシレン製造装置の建設に着手
- 11月 サービスステーション運営子会社（一光）と鈴与エネルギー（株）の事業統合を決定
- 1月 Dr. Driveリニューアル等、今後のサービスステーション戦略を発表
- 2月 出光興産（株）と石油製品相互供給取引に基本合意（室蘭製油所原油処理停止後の供給体制強化）
- 2-3月 メガソーラー（仙台・下松）運転開始
- 3月 （株）LIXILと業務提携に関する検討を開始（Dr. おうちのエネルギーでの提携から検討開始）

## JX開発

- 6月 新潟県佐渡南西沖における試掘調査の実施を決定
- 9月 ミャンマー海上において、新規探鉱区を取得
- 12月 アラビア石油（株）と同社の人材等の資産を譲受けについて合意
- 12月 英領北海において油ガス田権益の買収に合意（2月にマリナー油田の開発移行決定）

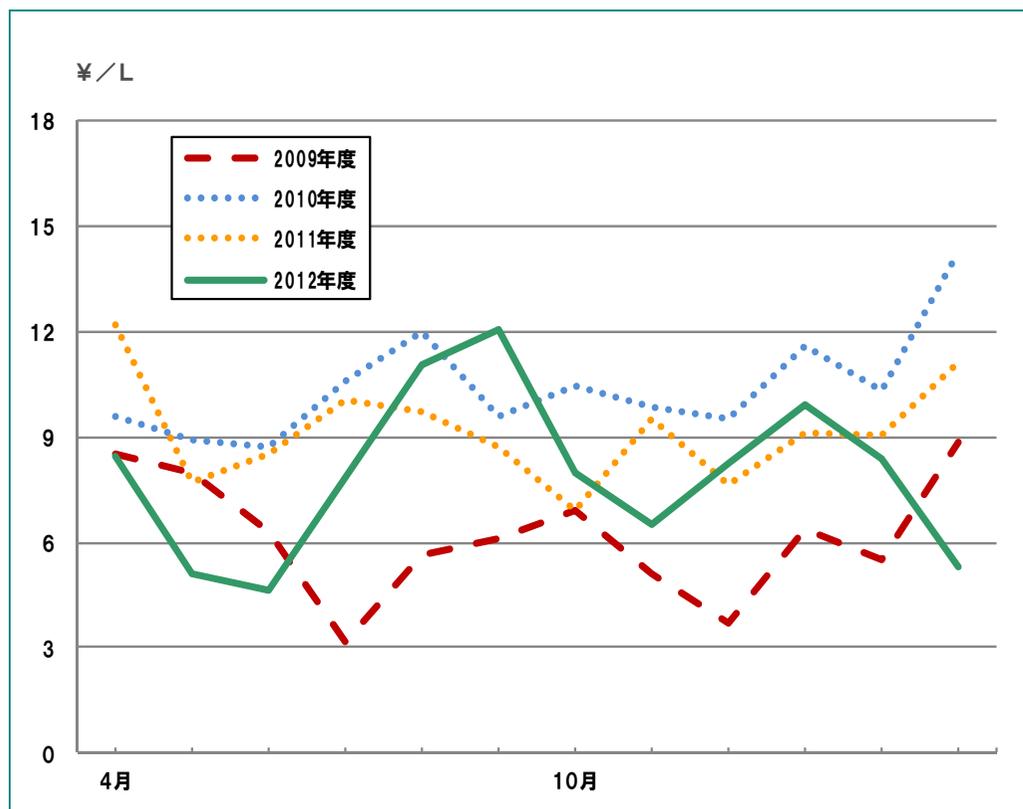
## JX金属

- 9月 チリ・アルゼンチンにおいて銅・金の探鉱権益を取得（フロンテラ）
- 9月 車載向けリチウムイオン電池用正極材の新製造設備が竣工（磯原）
- 2月 精密部材・コネクタ等を製造する掛川新工場が竣工
- 3月 カセロネス銅・モリブデン鉱床開発プロジェクトにおいて最初の電気銅を生産（SX-EW）



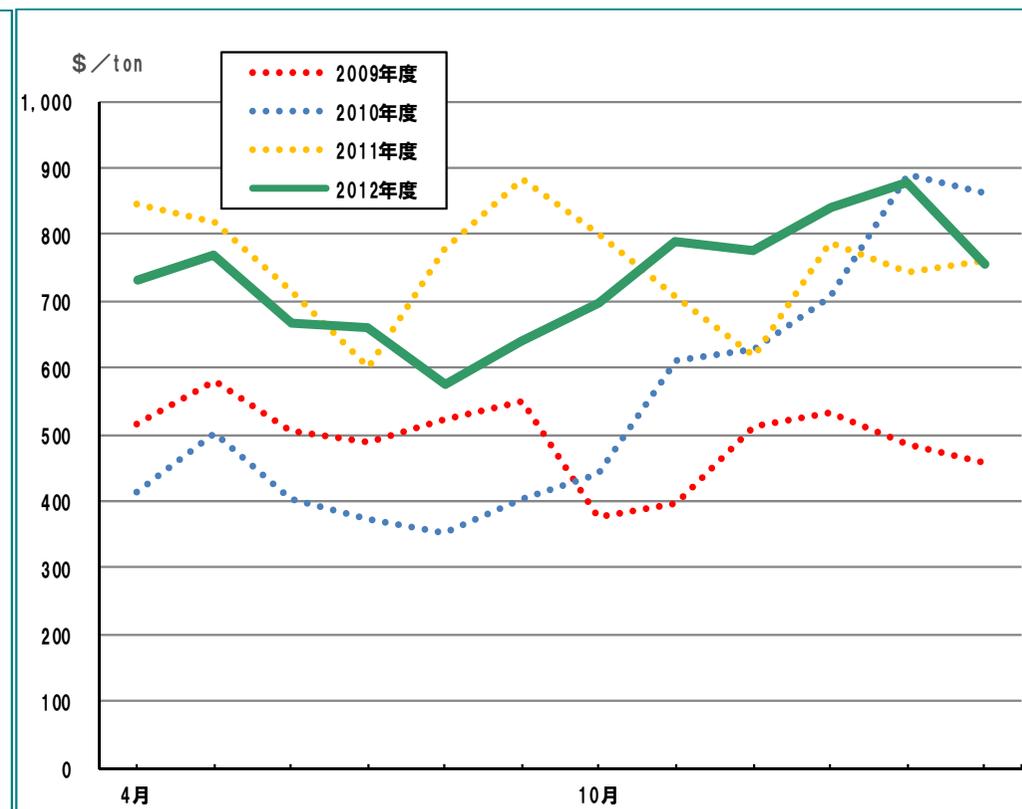
# 白油4品・パラキシレンマージン推移

## 白油4品マージン推移



\* スポット価格－全国通関原油C I F (石油税・金利含み)

## パラキシレンマージン推移



\* ACP－原油価格 (ドバイスポット)

# 2012年度 決算概要 (前年比)

\* 3月から2月の平均（与到着ベース）

原油代(ト'ハイ) (\$/B) *
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)

売上高
営業利益
営業外損益
経常利益 (うち在庫影響)
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2011年度 (実績)	
	109
暦年へ-ス (400)	385
暦年へ-ス (80)	79
(億円)	
	107,239
	3,279
	799
	4,078
( 1,165 )	
	2,913
	▲533
	1,706

2012年度 (実績)	
	109
暦年へ-ス (361)	356
暦年へ-ス (80)	83
(億円)	
	112,195
	2,515
	768
	3,283
( 573 )	
	2,710
	▲563
	1,595

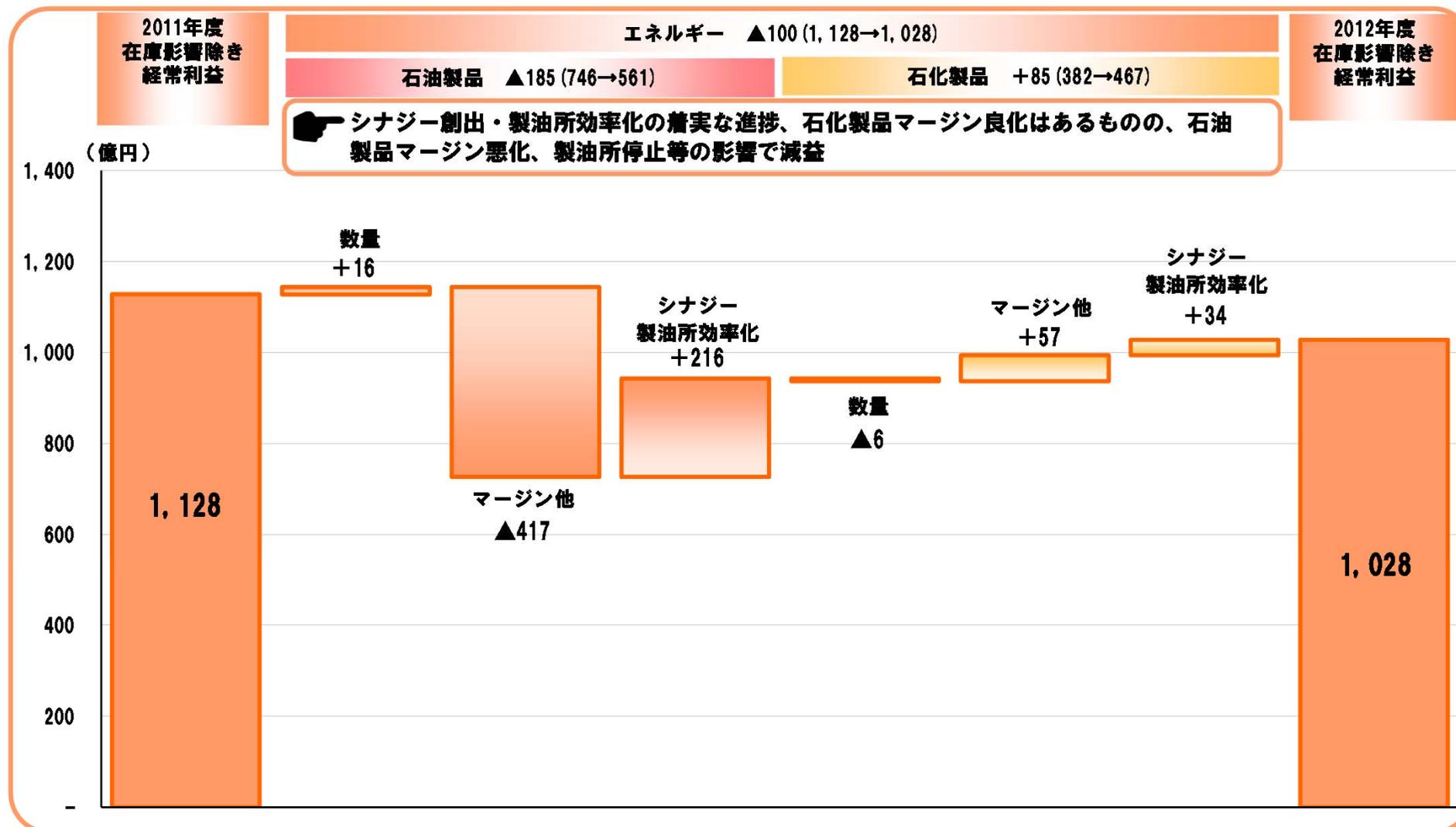
差 異			
	▲0		▲0.4%
暦年へ-ス (▲39)	▲29	暦年へ-ス (▲9.8%)	▲7.5%
暦年へ-ス (±0)	+4	暦年へ-ス (±0.0%)	+5.1%
(億円)			
	+4,956		+4.6%
	▲764		▲23.3%
	▲31		▲3.9%
	▲795		▲19.5%
( ▲592 )		( ▲50.8% )	
	▲203		▲7.0%
	▲30		-
	▲111		▲6.5%

# 2012年度 セグメント別経常利益 (前年比)

	2011年度 (実績)	2012年度 (実績)	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	2,325	1,616	▲709	▲30.5%
(うち在庫影響)	(1,197)	(588)	(▲609)	▲50.9%
<b>在庫影響除き</b>	1,128	1,028	▲100	▲8.9%
(うち石油製品)	(746)	(561)	(▲185)	▲24.8%
(うち石油化学製品)	(382)	(467)	(+85)	+22.3%
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	975	936	▲39	▲4.0%
<b>金属事業</b>	600	450	▲150	▲25.0%
(うち在庫影響)	(▲32)	(▲15)	(+17)	▲53.1%
<b>在庫影響除き</b>	632	465	▲167	▲26.4%
<b>その他</b>	178	281	+103	+57.9%
<b>経常利益 計</b>	4,078	3,283	▲795	▲19.5%
<b>在庫影響除き</b>	2,913	2,710	▲203	▲7.0%

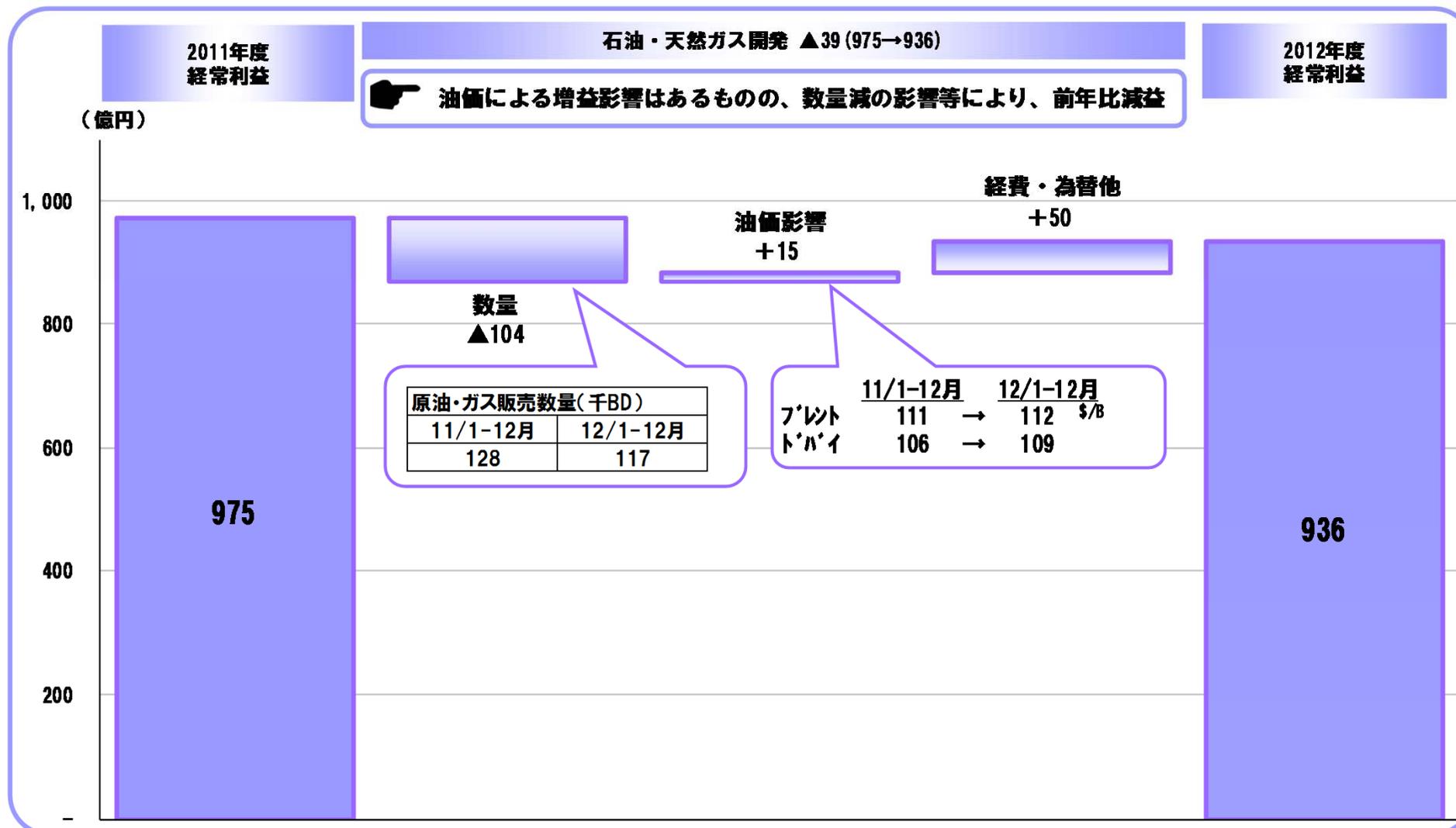


# 2012年度 エネルギー事業 経常利益増減 (前年比)

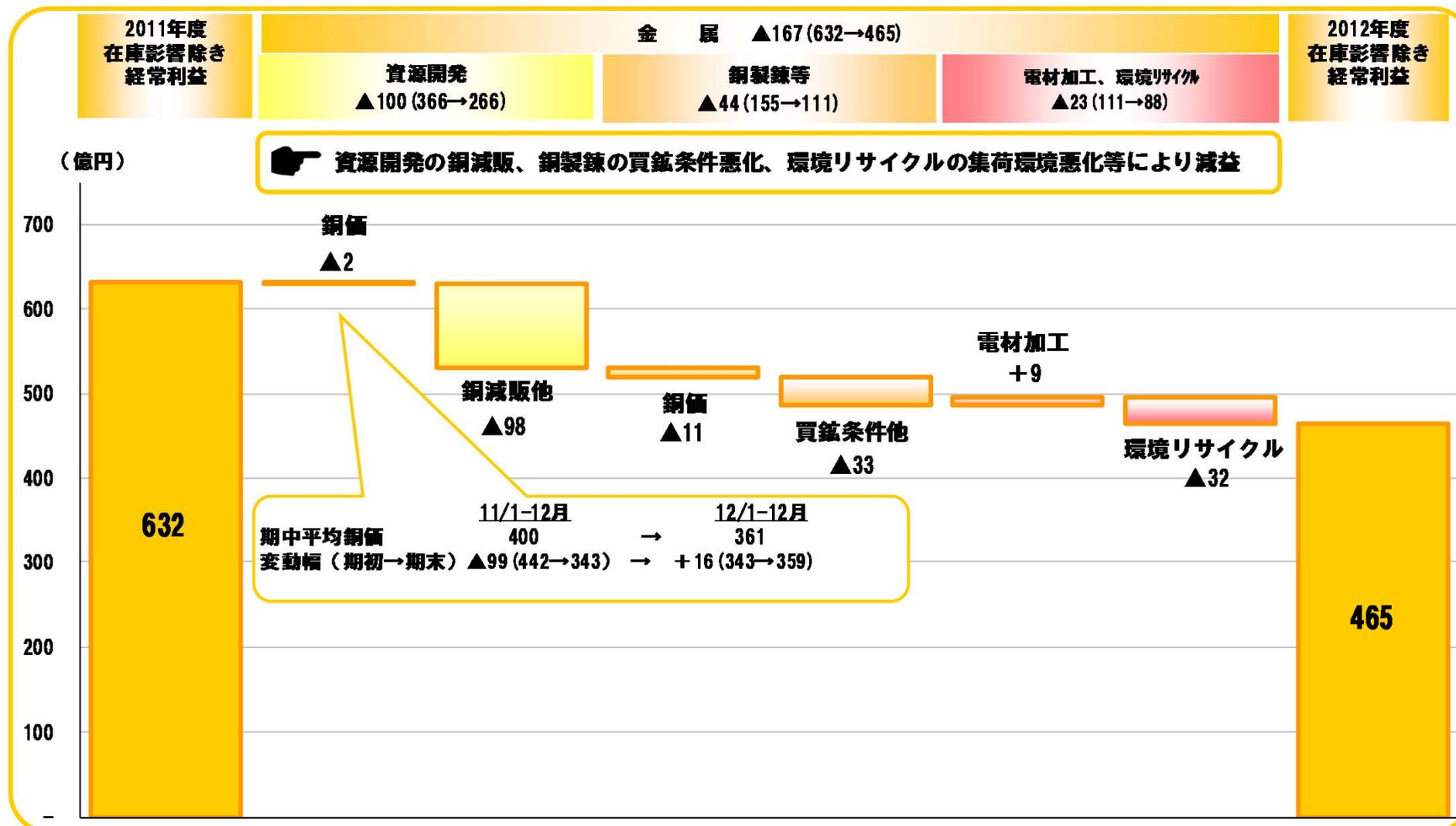




# 2012年度 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前年比)



# 2012年度 金属事業 経常利益増減 (前年比)



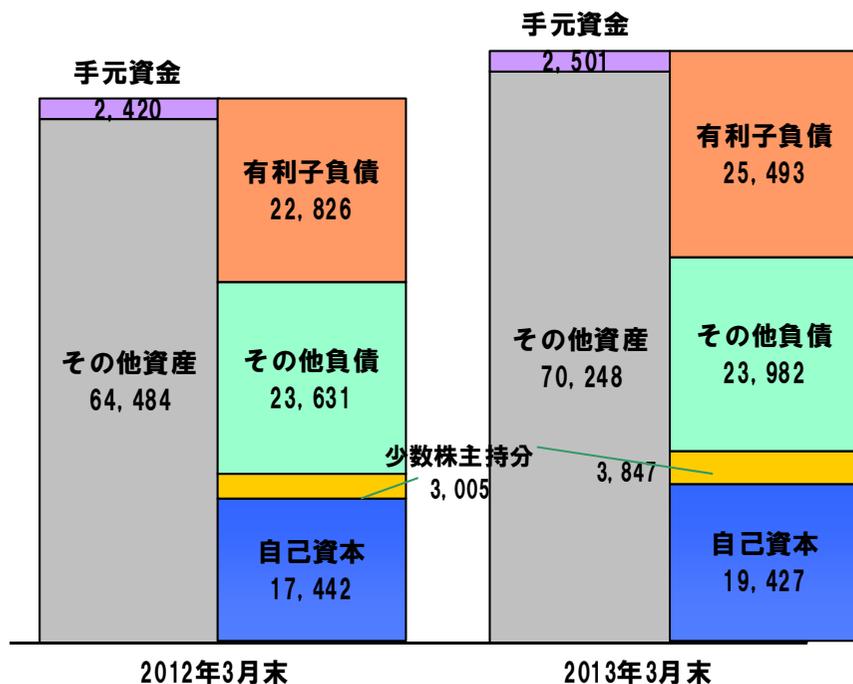
# 2012年度末 連結バランスシート 2012年度 連結キャッシュフロー



(連結バランスシート)

総資産：66,904

総資産：72,749



手元資金を除いた  
ネット有利子負債は  
2,586億円増加  
(ネットキャッシュ  
フローのマイナス  
〔1,785億円〕、新規  
連結・合併の影響等  
により)

	2012年3月末 (実績)	2013年3月末 (実績)
自己資本比率	26.1%	26.7%
ネットD/Eレシオ	1.17	1.18
ROE	10.1%	8.7%

(連結キャッシュフロー)

経常利益	3,283
減価償却費	1,804
運転資金	▲1,645
法人税他	▲786
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>2,656</b>
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>▲4,261</b>
<b>フリーキャッシュフロー</b>	<b>▲1,605</b>
<b>配当他</b>	<b>▲180</b>
<b>ネットキャッシュフロー</b>	<b>▲1,785</b>

# 2012年度 セグメント別経常利益 (前回見通し比)

	2012年度 見通し (2月公表)	2012年度 実績	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	1,810	1,616	▲194	▲10.7%
(うち在庫影響)	(480)	(588)	(+108)	+22.5%
<b>在庫影響除き</b>	1,330	1,028	▲302	▲22.7%
(うち石油製品)	(880)	(561)	▲319	▲36.3%
(うち石油化学製品)	(450)	(467)	(+17)	+3.8%
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	950	936	▲14	▲1.5%
<b>金属事業</b>	420	450	+30	+7.1%
(うち在庫影響)	(▲30)	(▲15)	(+15)	-
<b>在庫影響除き</b>	450	465	+15	+3.3%
<b>その他</b>	270	281	+11	+4.1%
<b>経常利益 計</b>	3,450	3,283	▲167	▲4.8%
<b>在庫影響除き</b>	3,000	2,710	▲290	▲9.7%

## 2013年度決算見通し (2013年4月1日～2014年3月31日)

- ✓ 2013年4月以降の見通し前提は、原油価格105ドル/バーレル、銅価340セント/ポンド、為替レート95円/ドル

# 2013年度 通期見通し 概要 (前年比)

\* 3月から2月の平均 (≒到着ベース)

原油代 (ト'ハ'イ) (\$/B) *
銅 価 (¢/lb)
為替レート (¥/\$)

売上高
営業利益
営業外損益
経常利益 (うち在庫影響)
在庫影響除き経常利益
特別損益
当期純利益

2012年度 実績	
	109
暦年へ'ス (361)	356
暦年へ'ス (80)	83
(億円)	
	112,195
	2,515
	768
	3,283
	( 573 )
	2,710
	▲563
	1,595

2013年度 見通し	
	105
暦年へ'ス (345)	340
暦年へ'ス (94)	95
(億円)	
	122,500
	2,550
	800
	3,350
	( 350 )
	3,000
	▲250
	1,700

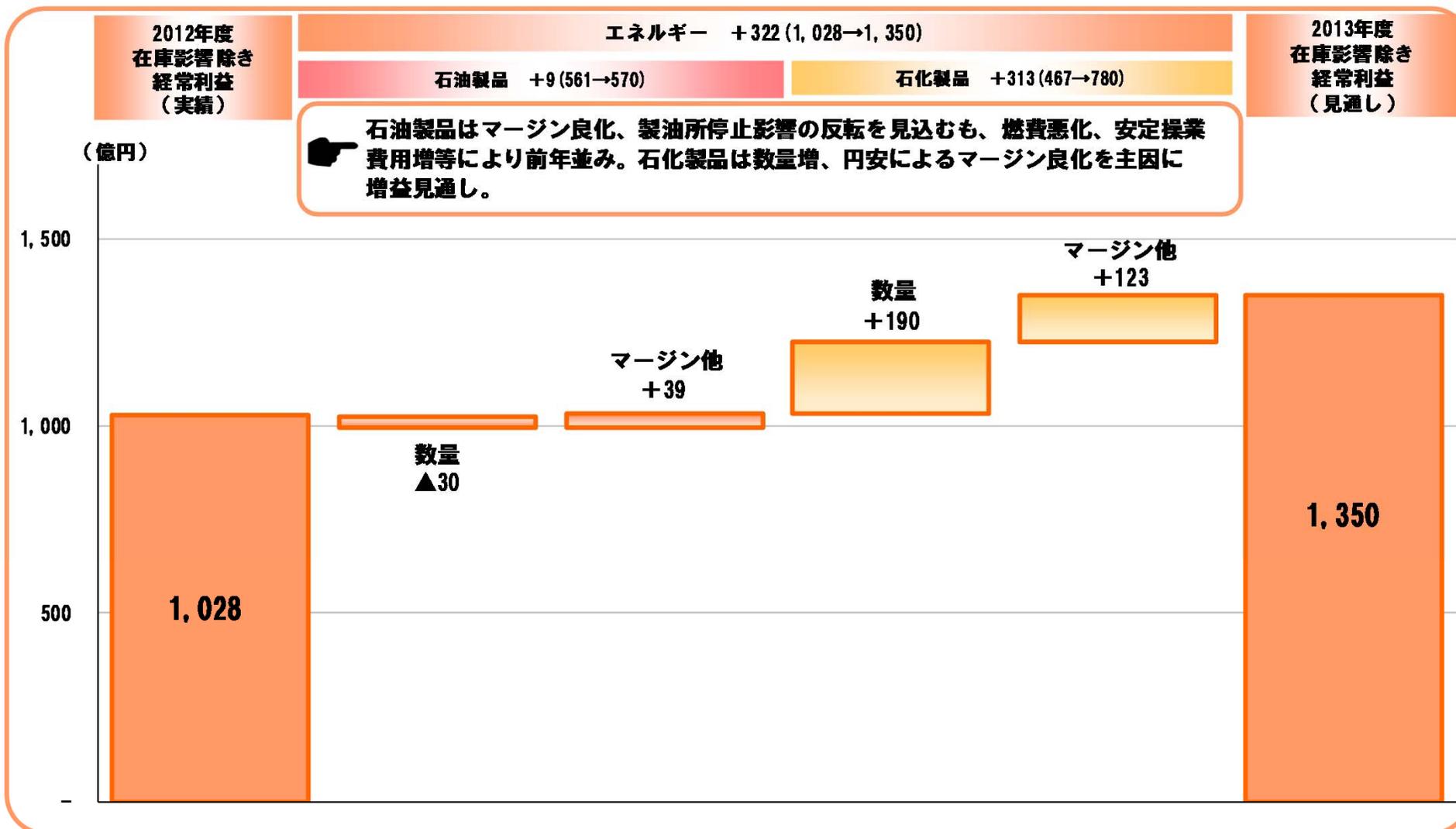
差 異		
	▲4	▲3.2%
暦年へ'ス (▲16)	▲16	暦年へ'ス (▲4.4%) ▲4.5%
暦年へ'ス (+14)	+12	暦年へ'ス (+17.5%) +14.5%
(億円)		
	+10,305	+9.2%
	+35	+1.4%
	+32	+4.2%
	+67	+2.0%
	( ▲223 )	( ▲38.9% )
	+290	+10.7%
	+313	-
	+105	+6.6%

# 2013年度 セグメント別経常利益（前年比）

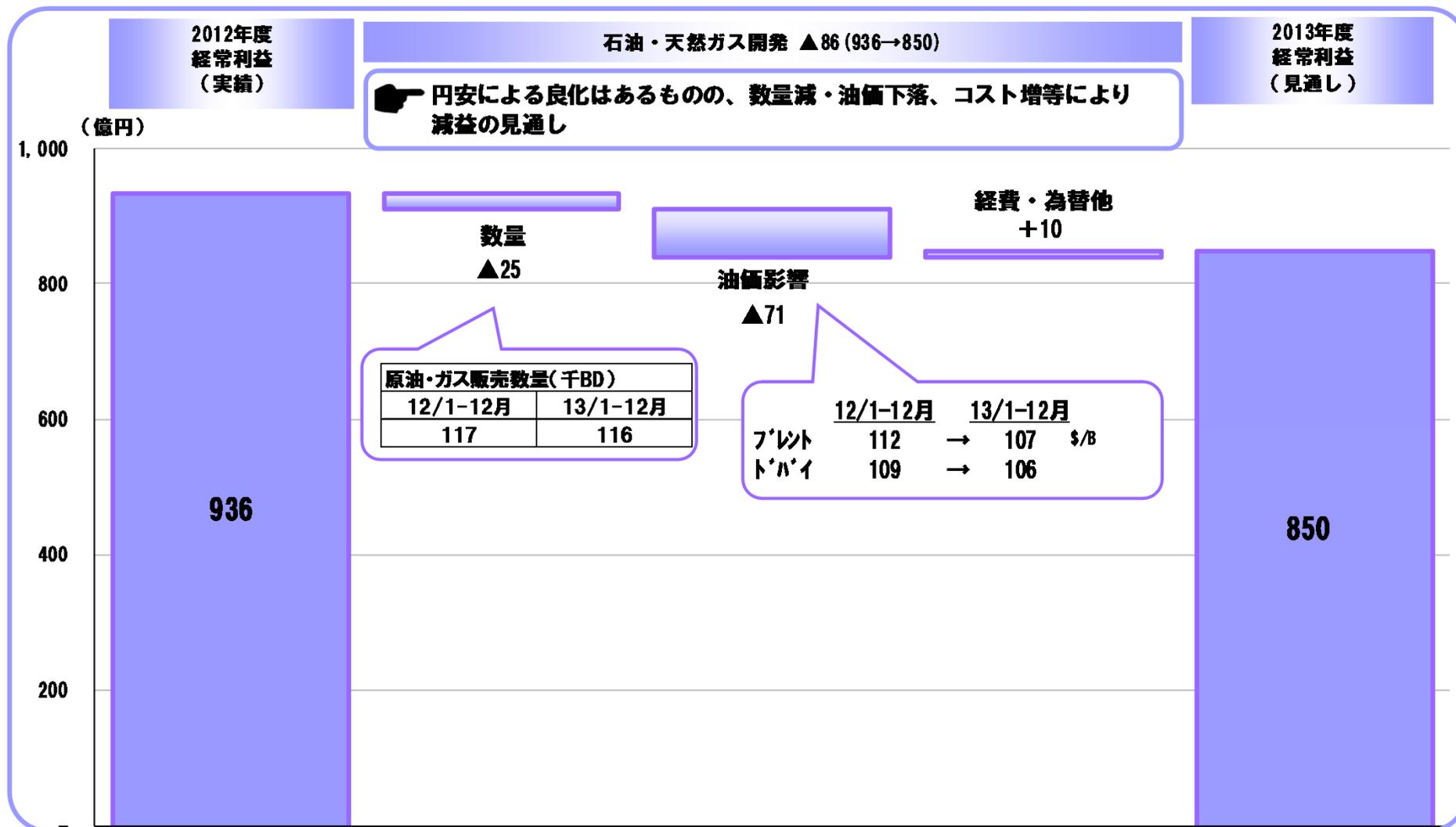
	2012年度 実績	2013年度 見通し	差 異	
	(億円)	(億円)	(億円)	
<b>エネルギー事業</b>	1,616	1,700	+84	+5.2%
（うち在庫影響）	(588)	(350)	(▲238)	▲40.5%
<b>在庫影響除き</b>	1,028	1,350	+322	+31.3%
（うち石油製品）	(561)	(570)	(+9)	+1.6%
（うち石油化学製品）	(467)	(780)	(+313)	+67.0%
<b>石油・天然ガス開発事業</b>	936	850	▲86	▲9.2%
<b>金属事業*</b>	450	550	+100	+22.2%
（うち在庫影響）	(▲15)	(-)	(+15)	-
<b>在庫影響除き</b>	465	550	+85	+18.3%
<b>その他*</b>	281	250	▲31	▲11.0%
<b>経常利益 計</b>	3,283	3,350	+67	+2.0%
<b>在庫影響除き</b>	2,710	3,000	+290	+10.7%

\* 2013年度より、チタン事業をその他から金属事業に移管

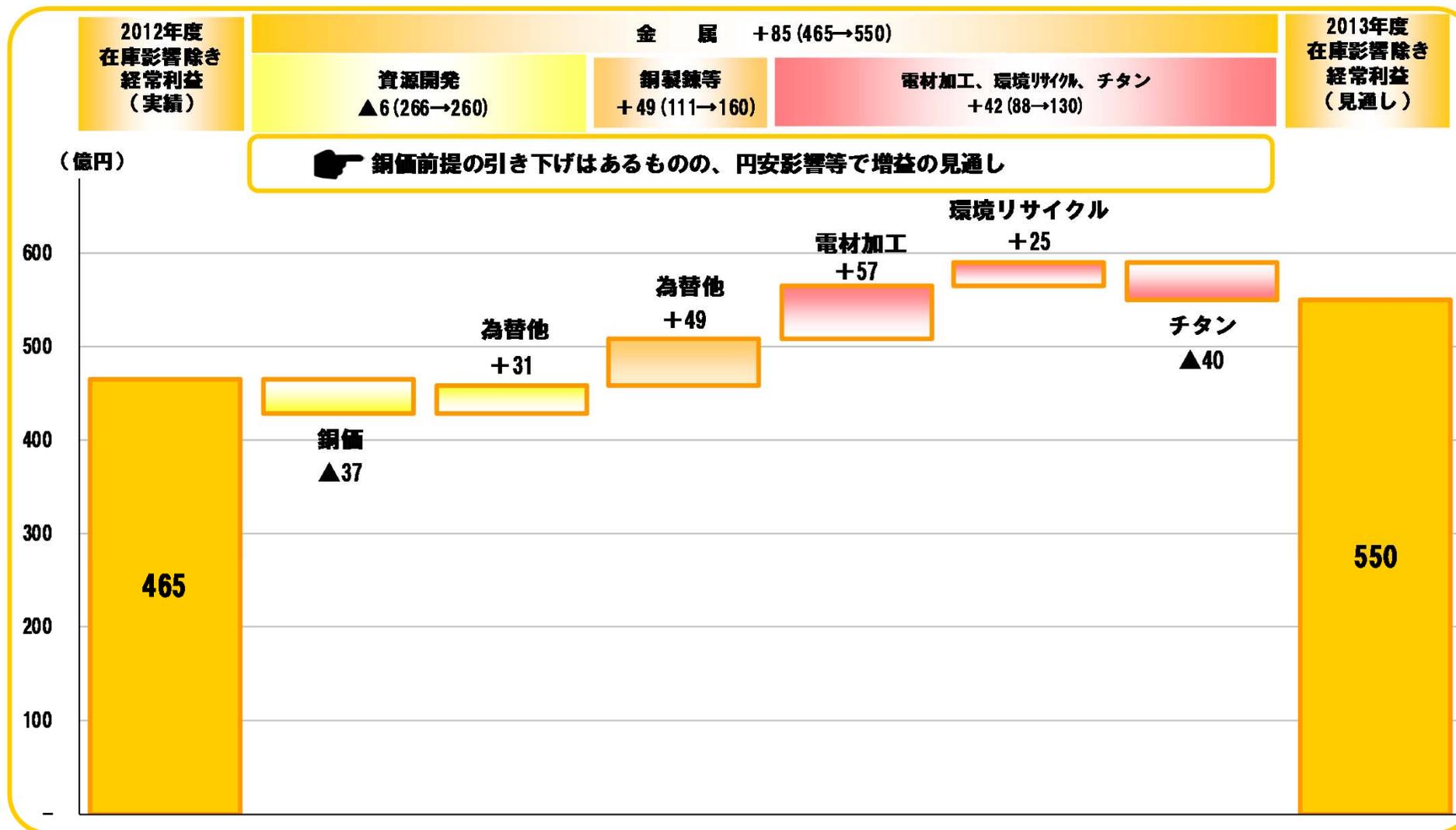
# 2013年度 エネルギー事業 経常利益増減 (前年比)



# 2013年度 石油・天然ガス開発事業 経常利益増減 (前年比)



# 2013年度 金属事業 経常利益増減 (前年比)



# 前提条件



		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
		実績	実績	実績	実績	見通し
共通	為替レート（円/ドル）	93	86	79	83	95
エネルギー	ドバイ原油価格<年度>*（ドル/バーレル）	86	82	109	109	105
	バラキシレンマージン（前月ドバイ比）（ドル/トン）	510	570	765	715	725
石油・天然ガス開発	原油換算販売数量（千バーレル/日）	143	140	128	117	116
	ブレント原油価格<暦年>（ドル/バーレル）	62	80	111	109	106
金属	銅価格LME<暦年>（セント/ポンド）	277	342	400	361	345
	銅鉱山権益生産量（千トン/年）	101	111	105	105	132
	PPC銅販売量（千トン/年）	605	588	566	551	571
	圧延銅箔販売量（千km/月）	2.7	3.3	2.6	2.7	3.2
	精密圧延品生産品販売量（千トン/月）	3.5	3.8	3.5	3.3	3.8
	環境リサイクル金回収量（トン/年）	6.3	6.5	7.0	5.8	6.1

\*到着ベース

# 感応度



## ■前提条件

為替：95円／ドル

原油：105ドル／バーレル  
(ドバイスポット)

銅価：340セント／ポンド

## ■市況変動による2013年度経常利益への影響額

項目	変動幅	変動項目	(億円)	
			影響度	
為替レート	1円/ドル 円安	エネルギー（燃費増、石化マージン良化等）	(+)	10
		石油・天然ガス開発	(+)	10
		金属（マージン良化、為替換算差等）	(+)	10
		小計	(+)	30
		在庫影響	(+)	80
		合計	(+)	110
原油FOB (ドバイスポット)	1ドル/バーレル 上昇	エネルギー（燃費増等）	(-)	15
		石油・天然ガス開発	(+)	15
		小計	(±)	0
		在庫影響	(+)	75
		合計	(+)	75
銅価 (LME)	10セント/ポンド 上昇	金属	(+)	25
		合計	(+)	25

\*石油開発・金属は4～12月（9か月間）の影響額です。

## 将来見通しに関する注意事項

本資料には、将来見通しに関する記述が含まれていますが、実際の結果は、様々な要因により、これらの記述と大きく異なる可能性があります。かかる要因としては、

- (1) マクロ経済の状況またはエネルギー・資源・素材業界における競争環境の変化
  - (2) 法律の改正や規制の強化、
  - (3) 訴訟等のリスク など
- が含まれますが、これらに限定されるものではありません。